

---

Simplified

S T O R I E S  
of impact

網走市立網走小学校

## Google for Education 活用による学校全体へのインパクト

### Google 使用前の課題

【校務】業務が分散。情報の編集・転記、印刷等の業務が煩雑。

【授業内】教師が教科書を主な情報源として学ぶ。

一人一人が考えを即座に共有しづらい。

閉鎖や欠席の際、学びを保障できない。

【授業外】児童会での企画・運営が教師主導になりがち。



### Google 使用後の変革

【校務】共同編集により効率化。印刷業務が激減。

【授業内】あらゆる情報にアクセスして学ぶことができる。

全員が互いの意見を即座に共有することができる。

閉鎖や欠席でも、いつでも学びを保障できる。

【授業外】児童会での企画・運営が子供主体になってきた。

定量的  
成果

97%

ICT研修を基に端末を活用した授業に取り組んでいると回答した教職員の割合

90%

Chromebookを積極的に活用していると答えた児童の割合

NO.1

網走市内でのICT進捗状況

上記事例の実現にあたって、達成のカギとなったポイントを記載

成功への  
カギ

1. 全教職員がベクトルを同じくして、教育活動の充実・改善に向かう組織力。
2. とにかくやってみようという挑戦し、疑問点等はすぐに聴き合い、相互成長しようとする風土。
3. Googleの研修に参加した推進員が主体となり、ミニ研修や通信により情報共有・共同体験したこと、教職員が効果を実感できたこと。

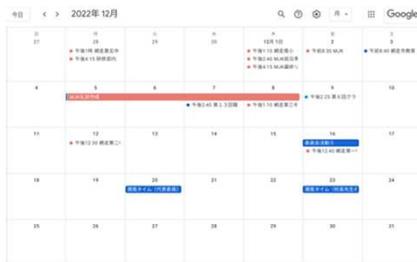


## 「事例に関する表題」 (e.g. xxxxx)

(活用の場面：授業内の活用、授業外の活用、校務/教務での活用、その他)

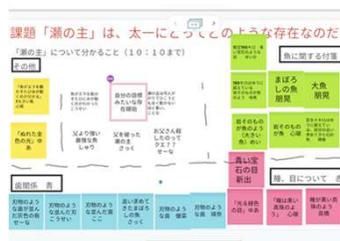
### 校務/教務での活用

- Googleカレンダーを用いて、提出物の締切や校外研修の人員を把握することで、見通しをもって仕事ができるようになってきた。
- 反省会議においてドキュメントで共同編集したことで、効率的・効果的な話し合いをすることができた（従来より20分間の短縮）。



### 授業内での活用

- スプレッドシートで考えの交流
- ジャムボードで考えを比較分類
- スライドを使い、単元の見通しをもたせる。また、今までの板書をリンクで挿入しておくことで、学びの跡を振り返られるようにした。

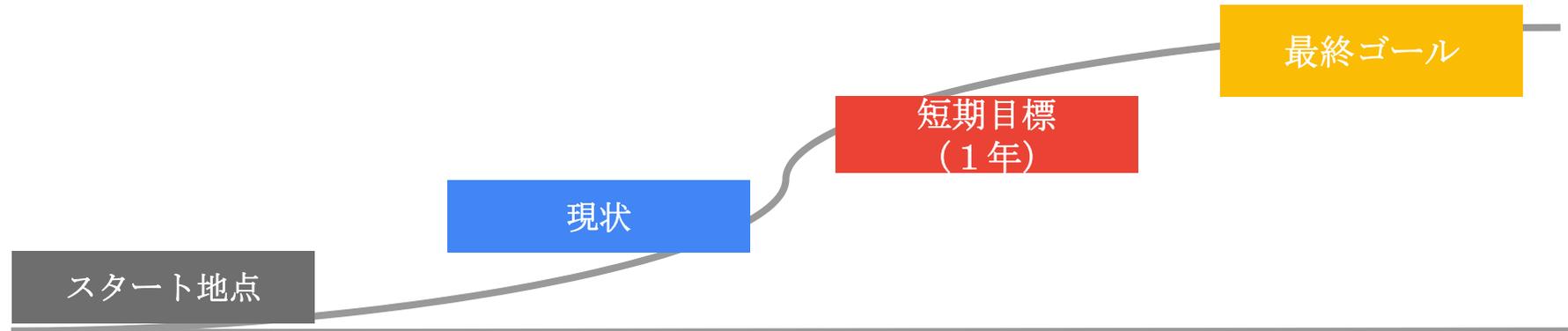


### 授業外での活用

- 児童会活動において、総会議案を共同編集することで、効率的な運営が可能になった。
- 児童会活動において、子供が情報収集しまとめたスライドを発表している。Google ミートでつなぐことで、コロナ禍でも、全校の活動が可能になった。



## Google for Education 活用における学校のビジョン xxxxx



スタート地点

- 2020年3月
- 課題；使い方が不明
- Chromebook導入数  
全児童数分
- Workspace活用率  
10%未満

現状

- 2022年10月
- 変化；授業内外で活用  
オンライン授業実施
- Workspace活用率  
校務10%、授業内50%
- 課題；校務での活用  
資質・能力育成の授業  
内外での効果的活用

短期目標  
(1年)

- 2023年10月
- 1年後の目標  
；校務での活用75%以上  
授業内外での  
効果的活用75%以上
- アクションプラン  
；会議での日常的活用  
活用研修（2回以上）  
育成指標の作成・共有

最終ゴール

- 2025年3月
- 長期ビジョン  
；校務・授業内外活用100%  
；活用モデルを市内に普及
- アクションプラン  
；研修内容との統合  
AGKでのモデル共有  
日常授業の交流の場の設定  
学力フォーラムでの発信